

02 福島県の森林 最新注目情報

福島の森林・林業再生に向けて 森林作業ガイドライン説明会を開催

東京電力福島第一原子力発電所事故から15年以上が経過しました。

福島県では森林・林業の再生に向けた取組が着実に進められており、本年度は、立入りに制限が残る帰還困難区域における森林整備の再開にモデル的に着手するなど、新たな段階を迎えています。

その一方で、県内には今なお放射性物質の影響が残る森林があり、森林整備を進めるためには、必要に応じた放射線防護対策など現場作業に携わる方々が安全かつ安心して作業に取り組める環境を整えることが重要です。

このため、林野庁では、令和8年1月、「福島の森林・林業再生に向けた森林作業ガイドライン～被ばく線量管理を行う場合の留意事項～」を策定し、放射性物質の状況に応じて安全・安心に作業を行う考え方や手順を示しました。



ガイドラインには、帰還困難区域であっても空間線量率等が一定の基準値以下の箇所では通常の森林整備が可能であることを明記するとともに、基準値を超える場合でも、作業内容や場所、期間を工夫することで安全に作業をするための手法を提示しました。また、年間の被ばく線量を事前に推計し、安全・安心な作業計画を作成できるツールを掲載するとともに、林野庁ウェブサイトにて公開しています。

そして本年度は、このガイドラインを現場に普及するため、福島県内の林業事業体等の作業者や勤務管理者を主な対象にガイドライン説明会を3会場各約100名規模で開催しました。説明会では、ガイドラインの考え方や活用方法、被ばく線量管理の進め方などについて、実践的な解説を中心に行うとともに、放射線防護や作業上の留意事項のみならず日常で感じる放射性物質にまつわる様々な疑問や悩みにも丁寧にお答えするなど、安心して作業を進めるための知識と共通認識の醸成に努めました。

林野庁では、今後も科学的知見に基づく情報提供と適切な放射性物質対策の普及を通じて、森林整備に携わる方々が安全かつ安心して作業に取り組める環境づくりに努め、福島の森林・林業の再生を確実に進めてまいります。

森林作業ガイドライン

https://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/jisin/sinrinsagyou_guideline.html



◀ いわき市会場での説明会

なめこを育てながら福島の森のいまを探求しませんか？

親子参加型「ふくしまの森・ジュニア探究プロジェクト2026」を開催します！



▲ きのこ栽培キット

会場：コミュニティ福島（オンライン参加も可能！）

日時：11月28日（土）14時～（2時間）

対象：小学校中学年以上の親子

参加
無料!

参加登録すると、なめこ栽培キットがご自宅に届き、シンポジウムまで家族で栽培体験！当日には収穫体験ができるかも！？

全国の参加者とともに森の調査員となり、放射線や森林、林業、きのこのことを楽しく探究して、一緒に学びましょう！！

お申し込みはこちらから！

イベントお申し込みフォーム 10月23日（金）17時

https://ringyou.or.jp/hukyu/detail_2013.html



2025年のシンポジウム